

さつまいも栽培の要領（改1）

1. 栽培品種と入手先

9月に収穫可能な紅あずま、10月～11月収穫のシルクスイーツ、11月収穫の紅はるかを栽培してきた。購入株数は紅あずまが200本、シルクスイーツが300本、紅はるかが400本である。苗の入手先は長嶋種苗店で1本40円であった。座間さんが茨城県から安く入手できるとの情報があり、令和7年度は座間さん経由で紅あずまを200本、紅はるかを400本発注済みで、シルクスイーツは長嶋種苗に300本発注している。

2. 植え付け時期と畑の準備

2023年の苗の入手日は5月18日、植え付けは5月21日であった。

2024年の苗の入手日は5月17日、植え付けは5月21日であった。

畑の準備は入手日の翌日（5/18）に行ったが植え付けまではできなかったため、植え付けが遅れ、その分苗が弱ってしまった。

令和7年度はできれば5月10日までには苗の植え付けができるようにマルチ張りまで準備しておくことが望まれる。

3. 畝幅とピッチ

畝幅は100cmが適当である。狭いとマルチの端部の土かけの余裕がなくなる。C農地のさつまいも畑は幅が10mであるため両端の畝に50cmに蔓が伸びるスペースを与えると畝幅を100cmとして9本の畝を作ることができる。紅あずまが2本、シルクスイーツが3本、紅はるかが4本に割り当てられる。

苗の植付けピッチは30cm程度とし、1本の畝に100本の苗を植えるため、すべての苗を畝に一旦置いて配置を決めてから植え付けること。

豪雨により畝が水浸しになると芋の品質が低下するので、できるだけ高畝にする。管理機で畝立てをした後にレイキで土上げをしてから再び管理機畝立てすることで高い畝にする方法とする。

4. 定着の適温

地温が低く水分量が少ないとないと活着しない。地温は18℃以上が必要なためマルチをかける。またマルチは雑草の防止策ともなる。

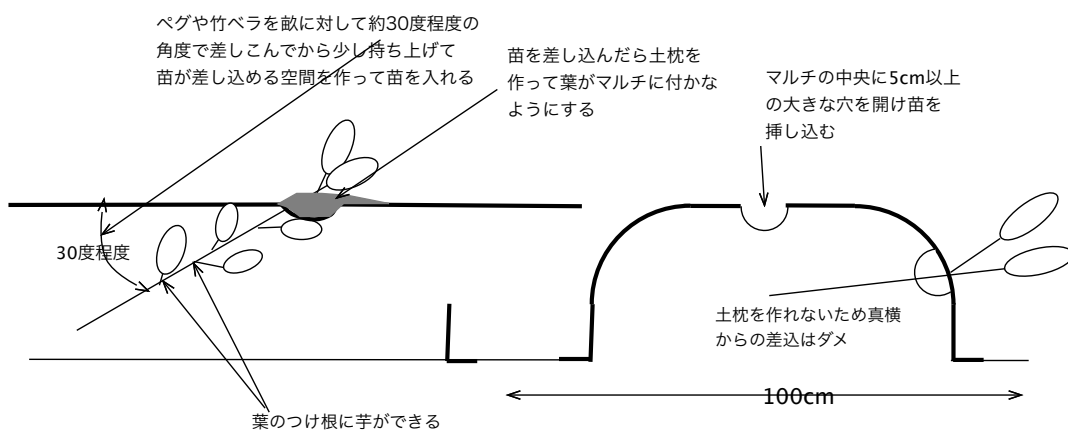
5. 植付け方

苗の端部は土壌からの養分吸収根のため芋がつかない。必ず節が土の中に治るように植え付けること。節の数だけ芋ができるので、できるだけ土中の節数を多くなるように植えること。

垂直植えは深く植え付けることが難しいため芋数が少なくなり大きな芋となる。このため斜め植えが推奨され下図に示すように約 30 度の斜め植えが良い。

昨年までは気が付かなかったが、さつまいも植え付け方法を調べた。黒マルチを使用した場合太陽光線でマルチの中は高温の空気で満ちて、小さな植え穴とし場合はマルチ内の高温の空気が苗に吹き付けて苗を枯らしてしまうことがあるとの記述があった。このため、少なくとも直径 5cm 以上の穴を開けて植え付け必要がある。

植え付け方の模式図を示す。また苗の葉がマルチに接すると葉が焼けて枯れてしまう。このため穴部に土を盛り、葉がマルチに触らないようにすること。真横からの苗の差し込みは土枕が雨などで流れてしまい葉がマルチに触れてしまうためやめたほうがよい。



マルチが風で吹き飛ばないようにマルチを設置したらピンで留めておく。苗の植え付けが終わったら巾50cmか100cmの防草シートを畝間にできるだけ早期に設置する

6. 土壌酸度 (PH)

5.5 から 6.0 が目安なので石灰が不必要の場合が多い。

7. 肥料

窒素分が多いとつるぼけして芋が大きくならないので窒素分の少ない土壌が向いている。

このため、牛糞堆肥、鶏糞堆肥、化成肥料は決して使用しないこと。

ただし、収穫後の芋蔓は溝に入れて土をかけ春先までに腐食させてミネラル

分がなくならないようにしている。

令和6年の秋にライ麦を栽培しており、苗植え付けの4週間前にライ麦をハンマーナイフモアで刈取り／裁断してからトラクターに混ぜ込んでおいた。さつまいもの組織内には空気中の窒素を固定する微生物（アゾスピリラム）が共生していて自ら栄養分を作り出す。芋の肥大にはカリ成分関係するため、草木灰などを多く入れると良い。リン酸の要求度は小さいが、リン酸を入れると芋の甘味が増す。1㎡あたり100g程度の米糠を入れるとよいとの記述もあるが材料の調達が難しい。長島種苗店のアドバイスではバーク堆肥を入れることを勧められているが今年度はライ麦を混ぜ込んでいるため特に肥料は入れない。

8. 雑草対策

今までは畝間に防草シートを張って雑草の抑制と蔓が土に接触しないため、蔓返しをしなくても良いに令和6年度は麦マルチを試してみたが、麦と同時に雑草が茂り、雑草だけを取り除くことができなかったため、さつまいもが雑草に覆われてしまった。人手があれば麦マルチも面白い栽培方法とは思いますが、できるだけ手間を減らすことが当面の課題であり、2025年度は防草シート方式に戻すことが適当と思われる。

9. まとめ

令和6年度の失敗を繰り返さないためには以下の点に留意する。

- ① 5月10日までに苗を植え付けられるように畑を準備しておくこと
- ② 苗を入手したらすぐに植え付けること
- ③ マルチに5cm以上の大きい穴を開けて植え付けること
- ④ 苗の葉がマルチに触れないように土枕を設けること
- ⑤ 真横からの苗の左飛込みは好ましくない
- ⑥ 雑草対策として畝間には防草シートを敷設すること